

## 十五童子像

下の写真は、広済寺(喜多町)境内にある金毘羅堂に伝わる十五童子像です。右の像には7体の童子と1体の牛が表情豊かに精巧に掘り出されていて、それぞれが取り外せるようになっています。

また、背部に記された紀念銘から、嘉永5年(1852)、氷川神社本



殿の彫工として知られる当代一流の名工・嶋村俊表によって作製されたことが分かります。また、なかの小さなお堂の什物(お寺で使用する器具類)を、わざわざ江戸の名高い彫工に依頼していることから、金毘羅堂に対する当時の人々の信仰の厚さをうかがい知ることが出来ます。

平成7年、金毘羅堂は、建物と本像を含む常什物が一括して川越市の文化財に指定されました。博物館では「川越の指定文化財展」未来に受け継ぐ、郷土の宝物」を開催し、本像を始めとした50件の指定文化財を紹介しています。本展は市内の貴重な文化財がそろったにない機会です。個性豊かな地元川越の宝物と出会って、文化財を身近に感じてみませんか。

日程：8月28日(日)まで 経費：入館料

## シャインマスカット



川越では、昭和30年代初めから巨峰の栽培が始まり、今では

さまざまな品種のブドウが栽培されています。中でもここ数年、人気が高まっているのがシャインマスカットという白ブドウです。

「種もなく皮ごと食べられて手間いらず。それに加えて香りの良さと巨峰に迫る甘さが人気の理由ですね」と話すのは、ブドウ農家の水村政巳さん(池辺)。シャインマスカットは日光に弱いので、通常の袋かけに加えて紙製の笠をかぶせ、大事に育てているそうです。おいしい食べ方を聞くと「氷水で軽く冷やすと甘みと香りが引き立ち、みずみ

ずしさが増しますよ」と教えてくれました。

川越産のシャインマスカットは、8月から9月にかけてが収穫時期ですが、予約注文でそのほとんどが売れてしまうそうです。早めに予約して食べてみてはいかがでしょうか。予約については、市ホームページで公開中の「川越プチマルシェ～庭先販売マップ」に掲載されている、ブドウを扱う販売所にお尋ねください。



この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

キュウリ、ナス、エダマメ、ウリ、オクラ、トマト、ネギ、ゴボウ、モロヘイヤ、イチジク、ピーマン、ミニトマト、コマツナ、カボチャ、ゴーヤ、スイカ

編集後記

# ぐんぐん

今年も暑い夏がやってきました。夏と言えばやっぱりプール。太陽が照りつける中、プールで楽しそうに水遊びをしている子どもたちを見てみると、小さいころ毎日プールに通ったことを思い出して、少し涼しくなった気がしました。



日本は夏で暑くなっていますが、今、世界が熱くなっているのはリオデジャネイロオリンピック。地球の反対側ブラジルでは、これから川越にゆかりのある10人の選手たちが、金メダルを目指して世界の選手と戦っています。

川越ゆかりの選手たちの競技日程は、7月25日発行の広報川越・3ページでお知らせしています。みんなで応援しましょう。